



2018年4月6日

各 位

会 社 名 株式会社システムインテグレータ
代表者名 代表取締役社長 梅 田 弘 之
(コード番号：3826 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 山田ひろみ
(TEL. 048-600-3880)

新中期経営計画発表のお知らせ

当社は、2018年度をスタートとする新たな中期経営計画「Break2018」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

1. 前中期経営計画「Core2015」(2015年度～2017年度)の経過と成果

中期経営計画「Core2015」では、4つの重点施策、①「コア製品・事業への資源集中」②「企業の体質改善」③「リスク管理の強化」④「新製品事業の収益化」に取り組みました。

2014年度に大規模な不採算プロジェクトにより営業赤字を計上しましたが、「Core2015」では、コア製品・事業への資源集中のため事業部制を導入し、企業体質改善として人材育成の強化や、フレックスタイムなど働く環境改善に取り組みました。

最終年度の2017年度では、生産性向上の取り組みや、マーケティング強化などの実施、AI事業や新クラウドサービス事業の開始など、事業改革や新事業投資も積極的に実施しています。これらの改革が成功して、業績面においても売上高3,767百万円、経常利益496百万円と当初計画には未達ながら、過去最高の売上、利益を更新して充実した3年間となりました。

「Core2015」の計画と実績

	2015年度			2016年度			2017年度		
	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比	目標	実績	計画比
売上高	3,000	3,539	18.0%	3,500	3,176	△9.2%	4,000	3,767	△5.8%
経常利益	350	447	27.8%	450	222	△50.5%	600	496	△17.2%
経常利益率	11.7%	12.6%	-	12.9%	7.0%	-	15.0%	13.2%	-

2. 新中期経営計画「Break2018」の基本方針

当社は、ソフトウェアの力で世界中の人々を幸せにしたいというポリシーのもと、「時間を与えるソフトウェアを創り続ける」ことをミッションとしております。10年後には当社ソフトウェアが国内のみならず、世界の国々で幅広く愛用されていることを目指しています。その最初の3年間の取り組みとして、守破離の「破」を強く意識して、新中期経営計画「Break2018」を策定いたしました。

「Break2018」では以下の5つを重点施策として取り組んでまいります。

(1) 既存事業のシェア拡大

主要3事業のうち、EC・オムニチャネル事業については、ECサイト構築パッケージ「SI Web Shopping」をコアシステムとして、ECを取り巻く各種サービスとの連携によるECエコシステム戦略によりシェア拡大を図ってまいります。

ERP事業は、Web-ERPパッケージ「GRANDIT」のアドオンモジュール製品の強化のため2018年度に大規模な開発投資を実施いたします。またRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）を使った生産性向上を新たなサービスとして展開し、製造業や工事業をメインターゲットにシェア拡大を図ります。

Object Browser事業については、データベース開発支援ツール「SI Object Browser」シリーズの安定収益に加え、2017年にサービス開始したソフトウェア画像認識AI「AISIV DesignRecognition（アイシア DR）」と、設計書作成ツール「SI Object Browser Designer」との連携による販売強化を行います。プロジェクト管理ツール「SI Object Browser PM」では、PMBOKを全て網羅したフル機能版についてはIT業界への更なるシェア拡大を図り、2017年発売の一部機能に限定したライト版については製造業など他業界への展開を加速します。

(2) 海外拠点の確立

開発力の増強のため、海外人材の活用を積極的に推進してまいります。2017年からベトナムの国立大学との連携によりベトナム人社員の採用を開始いたしました。これらの社員を日本で育成するとともに、ベトナム現地企業とのパートナーシップ開拓を行い、2020年度までにはベトナムにオフショア開発拠点を設置する計画としております。

また、製品の多言語化と販売ルート開拓に向けて、既存事業部の枠を超えた新規事業部を組織し、海外展開にチャレンジいたします。

(3) AI事業の確立

2017年からAI研究とAIサービスの開発に着手し、当社のAIサービスのコンセプトネームを「AISIV（アイシア）」と名付けました。2017年には第1弾としてソフトウェア画像認識AI「AISIV DesignRecognition（AISIV-DR）」、第2弾として花の名前を教えてくれるAI「AISIV FlowerName（この花な～んだ）」のサービスを開始しました。2018年度では、「画像認識AI」と「サーチ&ナレッジAI」の2分野を核とした製品を追加投入し、AI事業の早期の収益化を目指していきます。

(4) 社員のスキル向上

当社は「社員全員が一流の技術者」という社是を掲げ、この方針のもと社員には各種教育、スキル向上のチャンスや手段を提供しています。しかし一般に企業が大きくなるにつれ、「与えられた仕事だけこなす指示待ちタイプ」、「努力せずに要領だけで会社にぶら下がっているタイプ」「チャレンジしないだけでなく、チャレンジする人の足を引っ張るタイプ」などいわゆる大企業病にかかる人が増えていきます。

当社は、この大企業病にかからない風土作りにこだわっております。今後も、社員自らが向上する意志を持ち、チャレンジする人材に育つような環境を作ってまいります。

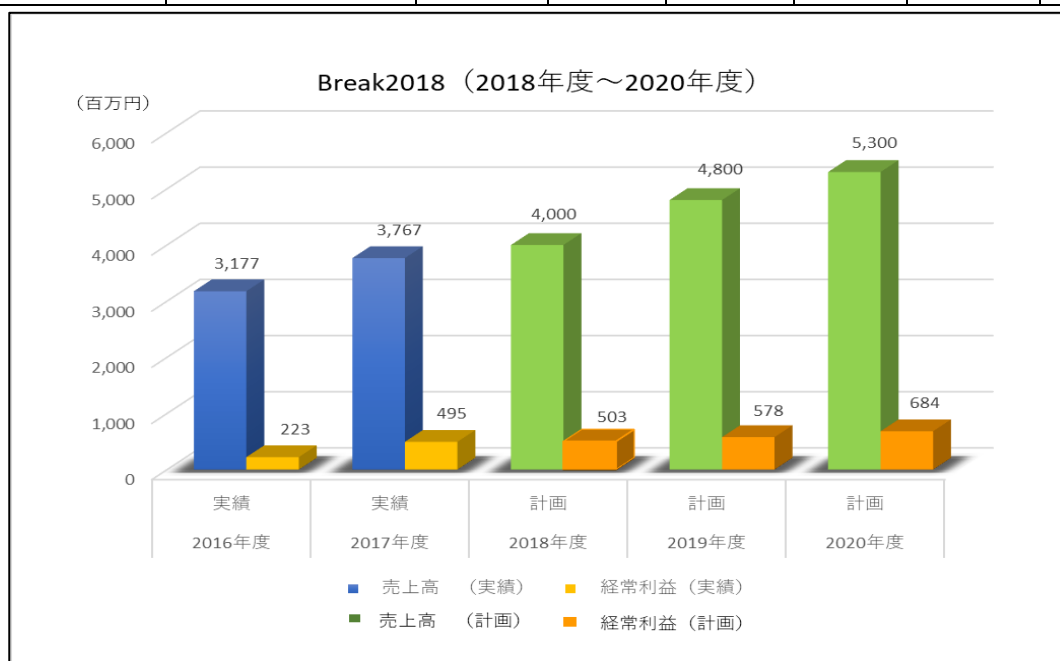
(5) 国内TOPの合理化企業

働き方改革は生産性の向上とセットで取り組まなければなりません。当社は、RPAによる自動化や各種システムツールによる情報活用、絶え間ない業務改善により国内TOPの合理化企業を目指し、生産性の向上に取り組んでまいります。長期的には国内TOPの「合理化企業」「働きたい会社」になることを目指しています。

3. 業績目標

2018年度は、AI関連の製品開発、ERP事業の大規模製品開発、RPAサービス事業化など将来に向けた開発投資をさらに積極的に行ってまいります。そのため、売上高は6.2%増の4,000百万円、経常利益は1.3%増の503百万円と2017年度からほぼ横ばいの計画としております。2019年度からはこれらの開発投資が収益化してくるため、2019年度は前年比20%、2020年度は前年比10.4%の成長を計画しております。

	2017年度 (2018年4月6日発表)	2018年度		2019年度		2020年度	
		目標	前期比増減率	目標	前期比増減率	目標	前期比増減率
売上高(百万円)	3,767	4,000	6.2%	4,800	20.0%	5,300	10.4%
経常利益(百万円)	496	503	1.3%	578	14.9%	684	18.3%
経常利益率	13.2%	12.6%	-	12.0%	-	12.9%	-



(注) 上記予想値、目標値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の判断で作成したものであり、将来の業績を保証するものではありません。今後の様々な要因により実際の業績等は変動することがありますので、ご了承ください。

以上